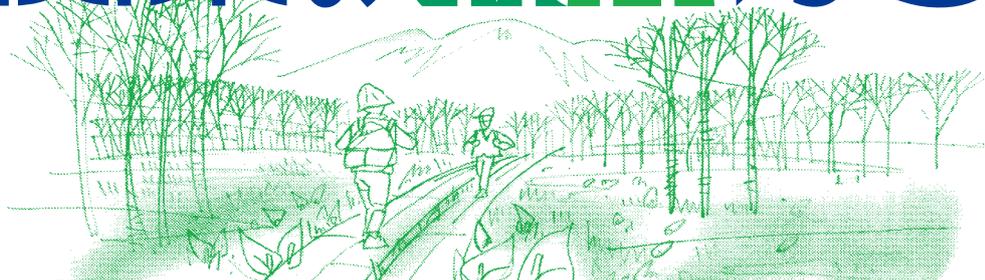


平成19年 9月1日

第42号

# 関東の森林から



国民の森林・国有林

関東森林管理局

前橋市岩神町4-16-25

TEL (027)210-1158

FAX (027)210-1159

<http://www.kanto.kokuyurin.go.jp/>



白根山と弓池（群馬県草津町）

（撮影：局 広報）

特集 … 「森林環境教育モデルコース」集を作成  
指導普及課

私の視点 「山好・水好・人好」

福島森林管理署 白河支署

産業医 関 元行 氏

森林官からのおたより

会津森林管理署 中ノ沢森林事務所

森林官 津谷 広百生



広報「関東の森林から」は、日本の森林を育てるため間伐材を使用しています。

# 「森林環境教育モデルコース」集を作成

## 指導普及課

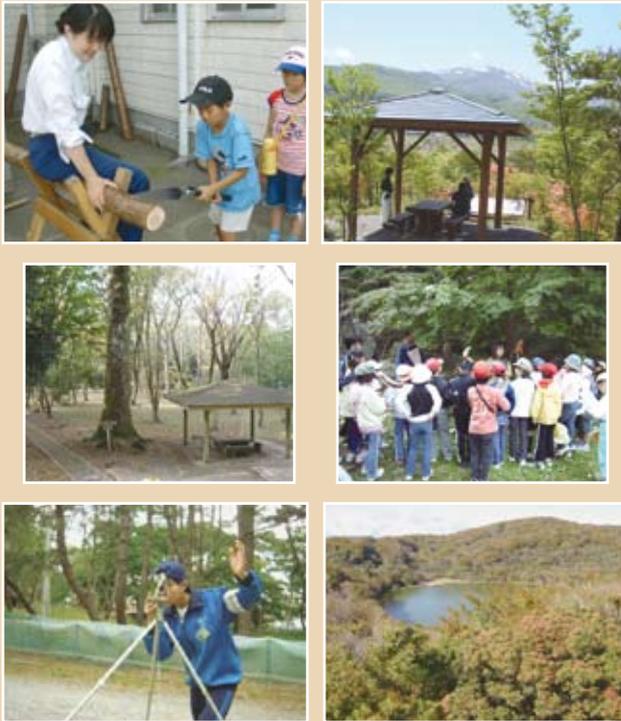
関東森林管理局においては、開かれた「国民の森林」の実現に向けて、従来から、森林教室、体験林業等の実施やこれらの活動の場となる「遊々の森」の設定を通じ、森林環境教育の推進に取り組んでいます。

平成18年9月に新たな森林・林業基本計画が策定され、平成19年2月には、関係閣僚会合において、「美しい森林づくり推進国民運動」を政府一体となって展開していくこととされる中、今後とも森林環境教育の機

会を子どもたちをはじめとする国民に広く提供することが必要となっています。

特に、次代を担う小中学生が、森林とふれ合い、あるいは森林・林業の知識を得て、木材利用の意義等も含め森林の持つ機能等について考え、自然の大切さを学び、愛する心を育む機会を持つことが重要であることから、従来から学校等の皆様に利用されている日帰りコースを基本に、森林環境教育に活用しやすいフイー

## 森林環境教育モデルコース



平成19年度  
関東森林管理局

## 森林環境教育モデルコース 目次

森林管理署等名	No.	モデルコース名	所在地	頁
福島森林管理署	1	きぼっこの森	福島県福島市	1
福島森林管理署	1	阿武隈川源流・甲子の森	福島県西郷村	3
白河支所	2	羽鳥湖畔散策道	福島県天栄村	10
会津森林管理署	1	チゴユリの森	福島県会津若松市	16
会津森林管理署 南会津支署	1	ブナ平自然観察教育林	福島県松枝岐村	18
棚倉森林管理署	1	八満山遊歩道	福島県棚倉町	20
	2	滝川溪谷	福島県矢祭町	22
	3	山本不動尊キャンプ場	福島県棚倉町	24
茨城森林管理署	1	御前山風景林	茨城県城里町	26
日光森林管理署	1	足尾荒廃地	栃木県日光市	28
	2	千手の森	栃木県日光市	30
塩那森林管理署	1	那須街道赤松林の森	栃木県那須町	32
	2	那珂川の源流を探る	栃木県那須塩原市	34
群馬森林管理署	1	小根山森林公園	群馬県安中市	36
吾妻森林管理署	1	草津森の癒し歩道ロイヤルコース	群馬県草津町	38
	2	草津森の癒し歩道サイクルロードコース	群馬県草津町	40
中越森林管理署	1	当間山のブナ林	新潟県十日町市	42
下越森林管理署	1	王子まなびの森	新潟県新発田市	44
下越森林管理署 村上支署	1	ふれあい里山の森	新潟県朝日市	49
	2	瀬波いこいの森	新潟県村上市	51
上越森林管理署	1	妙高ヶ峰癒しの森	新潟県妙高市	53
	2	関川源流部の森林	新潟県妙高市	55
天竜森林管理署	1	水源涵養の森	静岡県浜松市	57
伊豆森林管理署	1	森の巨人太郎スギ	静岡県伊豆市	60
	2	八丁池とブナ林	静岡県伊豆市	62
	3	間伐を学ぶ	静岡県伊豆市	64
千葉森林管理事務所	1	会所の森	千葉県勝浦市	66
	2	戸崎の森	千葉県君津市	68
	3	稲毛の森	千葉県千葉市	70

\*各コースの利用を検討される際には、時間的余裕をもって、事前に関係森林管理署等に、現地の状況をお尋ね下さい。

「森林環境教育モデルコース」を「モデルコース」として、各コースの特徴を紹介したコース集を作成しました。



福島森林管理署「きぼっこの森コース」

この「森林環境教育モデルコース」につきましては、関東森林管理局ホームページに掲載してありますのでご覧下さい。

# 赤谷プロジェクト 近況報告



「いきもの村たくみ小屋」  
この二階にムササビが住んでいます

赤谷プロジェクトの活動拠点であるいきもの村のたくみ小屋にはムササビが住んでいます。いきもの村はかつての苗畑施設で、プロジェクトの活動拠点として再整備をしたときには、使われなくなつて20年近くが経過していました。多分、この放置されていた時代に住み始めたのでしょう。プロジェクトでこの施設を使い始めることにより、ムササビがいなくなつてしまふのではないかという心配もありましたが、プロジェクトが始まつて4年目、ムササビは元気にここで暮らし続けています。

今月は、このたくみ小屋に住むムササビについてご紹介します。



ムササビの親子3匹が写っています  
お分かりですか？

## ムササビの生活

ムササビは夜行性の動物で、日が沈み暗くなつてから活動を始めます。他の場所の話を聞きますと、ムササビが活動を始めるのは日没後30分ぐらゐ経つてからだそうです。ところがこのムササビは宵っ張りで、活動を始めるのは夜の9時から10時ぐらゐからです。どうしてでしょうか？理由はよく分かりませんが、これはムササビの活動を、センサーカメラを使いモニタリングしてきたことから分かつてきたことです。



巣材のスギの皮を持ち込んできた瞬間です

また、毎年、繁殖に成功しています。ムササビは1年に初夏と冬の2回繁殖をしますが、このムササビは、去年と今年の春に繁殖の成功を確認しました。去年は6月中旬に、今年は5月中旬に元気な子供を見ることができました。繁殖を確認した後は、

私たちもたくみ小屋を使う際には脅かさないように気をつけています。か、しばらく経つと子供達が天井裏を駆け回る音が昼間でも聞くことができます。ようになります。

## ムササビは プロジェクトの協力者

いきもの村は環境教育の拠点です。ムササビはここでの環境教育の題材になつてもらつています。運が良いれば巣で寝ている毛玉のようなムササビに出会うことができますし、センサーカメラを使って継続的にモニタリングを続けていますので、センサーカメラを使った野生動物のモニタリング手法や、センサーカメラを使うとどのようなことが分かるのかなど、実際の題材となり協力してもらつています。



野生動物を実際に見ることができ  
る機会が多くありません。その数少ない機会を提供してもらつているム

## ムササビについて

ムササビは、主として夜に活動する夜行性の哺乳類動物です。前足と後足との間に飛膜があり、グライダーのように木から木へとかなり長い距離を滑空することができます。



ムササビが立った？

食べ物、種  
子・果実・木の  
芽等を主食とし  
ます。年に2回、  
冬と初夏に交尾  
をし、春と秋に  
1頭から4頭の  
子を産みます。

# 各署便り

## 中学生社会体験 チャレンジ事業

「埼玉所」秩父市の中学では7月から8月にかけて「仕事発見DAY」と称して、各種企業に依頼して体験学習を行っています。秩父第一中学校一年生5名、第二中学校二年生5名、高篠中学校二年生5名を受け入れることとしています。



中学生の社会体験学習

第一中学校が7月9日(月)から11日(水)までの3日間、間伐・除伐・枝打ち体験、巡検として石標のコケ取りとペンキ塗り、コンパス測量、図面書き、面積計算、雨天を利用して1日は森林教室(国有林のあらまし、あなたの町の国有林、緑の回廊

ビデオ、入庁案内等)を行いました。「どうして私たちの職場を選んだのか」と聞きましたら、「緑の大切さを学びたかったから」とのことであり、地球温暖化問題が子供たちにも浸透している様子が伺えました。

(流域管理調整官 岩下禮治)

## 請負事業体と 木材販売等の合同研修

【群馬署】8月8日(水)、局大会議室において、鈴木森林整備部長を講師に迎え「木材販売・素材生産等に関する研修会」を実施しました。

研修会には、当署管内で素材生産事業を実施している請負事業体から実際に現場で伐採作業等に従事している方30名を始め、局販売課、当署職員総勢60名が参加しました。

講義では、日本の木材需要構造の時代的変遷、外国為替の変動による国産材価格の見方をはじめ中国での木材需要の増加、北洋材の入手難によるカラマツ・アカマツの高騰、スギ間柱の需要増加など最近の動きについて説明があり、日本の林業・木材産業が木材需要構造の変化に十分対応してこなかったことを指摘されました。さらに、採材については、最終用途を理解しておくことが重要であり、京間、江戸間等地域によって材長が異なること等を念頭において的確に行うことが必要であると強



鈴木森林整備部長の説明

調されました。質疑応答では曲がり材の許容範囲等についての意見が出されました。

研修会後半には販売課神長企画官から、最近相次いで発生している請負事業体等の労働災害防止の観点から説明・要請がありました。

今回の研修には、職員だけでなく事業体の現場作業員も参加しており、今後さらに共通認識をもって事業実行や安全確保に努めて行きたいと考えています。(業務課長 高田 悟)

## 「国民の森林」 クリーン活動等の実施

【村上支署】緑豊かな自然と美しい環境を守ろうと、梅雨明けも間近に迫った7月23日(月)下越森林管理署村上支署では神林村から関川村に通ずる国道290号桃川峠及び隣接する国有林内において、神林村職員はじ

め、請負事業及び近隣地区住民の方々総勢約40名が参加しクリーン活動を実施しました。  
峠付近の待避所やチェーン脱着場などドライブバーが投棄したと思われる空缶、ペットボトル、雑誌などの一般ゴミのほか、なかには他地域で指定されているゴミ袋ごと投棄してある家庭ゴミ等々も沢山回収されました。

また、隣接する国有林内には、地理的条件等もあり、洗濯機やテレビなど大型のゴミが多数不法に投棄され、まだまだ不法投棄への意識が低いことをあらためて痛感しました。

参加した人達からは、「道路が良くなることは有り難いがこんなにゴミを捨てるのは有難い」と困ってしまふ、「指定のゴミ捨て場に置けば何の問題もないのになぜここに持って来て捨てるのか理解できない」などの意見が出され約2時間にわたる作業



職員等のクリーン活動

で、回収したゴミは古タイヤ、バッテリー等を含め可燃ゴミ360キログラム、不燃ゴミ820キログラム総数量1,180キログラムにも及び、ため息とともに作業を終了しました。

(管理係長 青砥一之)

### 「いずみの森」遊々の森 高城小学校緑の少年団が 植樹活動

〔榎倉署〕6月19日(火)、埴町立高城小学校三、六年生60名緑の少年団が、遊々の森、通称「いずみの森」で初めて活動を実施しました。

緑の少年団は、「いずみの森」の名付け親であり、湧水がわき出ていることから命名されました。

当日は、絶好の晴天に恵まれ、緑の少年団による始めの言葉や校長先生の挨拶など開会式の後、川遊びを行いました。

川遊びでは、川で泳いでいる魚やおたまじゃくしを探したり、網で魚を捕まえたりと、とても楽しく充実



緑の少年団による植樹

した活動ができました。

続いて、森林教室を実施しました。どうして木を植えるのだろうか？森林の役割はなんだろうか？と一緒に考え、木の植え方を実践しながらお話ししました。暑い中でしたが、児童達は、とても真剣に話を聞き、質問を積極的にを行い、理解を深めたようでした。

最後に、みんなで植樹を行いました。植樹した木は、学校と森林管理署で考えた、クルミ、トチノキ、クリ、ナナカマド、ユブシ、ナツツバキ等の広葉樹です。土の硬さと苗木の大きさに悪戦苦闘しながらも、当署職員4名と共に、土を掘り、苗木を植え、踏み固め、落ち葉を被せる一連の作業を一つ一つ丁寧に行いました。

汗を流しながら一生懸命作業を行いました。充実した、いずみの森活動を終了しました。

(森林ふれあい係長 中原加奈子)

### おおいしダム 湖畔まつり開催

〔村上支署〕7月28日(土)「おおいしダム湖畔まつり」が関川村の大石ダムで開催され、当支署を含む多くの機関・団体の参加によって、様々な催しが行われました。

21回目となるこのイベントは「森と湖に親しむ旬間」にちなんで、森林やダム・河川などの重要性について国民の関心を高め、理解を求める



各コーナーは子供たちで大賑わい

とともに、森林や湖に親しむ機会を提供することを目的に毎年実施されています。

あいにく当日は、不安定な天候により、訪れる人々の出足も鈍い中、

当支署の火起こし体験、森林クイズ、しおり作りの各コーナーは、訪れた親子連れや子供たちで賑わいました。

火起こし体験のコーナーで「絶対に火をつけるぞ！」と意気込んで一生懸命道具を動かす子供たちや、しおり作りでサンプルを参考に、独自の発想で色々な作品を作ったり、森林クイズでは、親子が一緒になってクイズの解答を考えている姿も多く見受けられ、今回のイベントは好評のうちを終了となりました。

(業務課 杉山茂人)

### 試験地見学会を実施

〔森林技術センター〕森林技術センター

は、「立地条件に応じた風致施業」をはじめ15技術開発課題に取り組んでいます。技術開発成果等の普及の一環として、一般市民の方々を対象に森林・林業を理解してもらえよう試験研究を行っている現地森林において試験地見学会を開催しました。

第1回目となる試験地見学会は8月5日(日)に筑波山の複層林試験地で開催し、試験内容成果を含め説明を行いました。参加者は10名と少人数でしたが、暑い中皆熱心に説明を聞き、採算は合うのか等の鋭い質問も出されました。また「配布した資料も含めて大変参考になったので見に行きたい」という意見もいただきました。

このような行事を通じて森林・林業に理解を示してくれる人が一人でも増えてくれるよう第2回目の見学会を計画していきます。

(副所長 大蔵正則)



熱心に説明を聞く参加者

# 森林官からののおたより

会津森林管理署 中ノ沢森林事務所

森林官 津谷 ひろゆき 広百生

日本百名山のひとつに数えられる安達太良山と肩を並べ、堂々と身構える箕輪山(1,718<sup>㍎</sup>)は福島県の中央北部に位置し、地域住民にとっては象徴的な存在であり、心よりどこころとして広く親しまれています。

その安達太良山と箕輪山との間に遠目でもハッキリと確認できる無立木地がありますが、明治33年の大噴火により形成されたもので「沼の平」と称され、痛々しいその姿は当時を彷彿させます。

北部には吾妻連峰につながる磐梯



明治33年の大噴火により形成された「沼ノ平地区」全景



NHK大河ドラマの背景画に使用され、一躍脚光を浴びることになった不動滝

吾妻スカイラインの玄関口があり、春は新緑、夏には青いキャンパスを背景に積乱雲と名だたる山々が大きな「壁画」を描き、そして秋の紅葉と1年を通し観光客を魅了しています。

南部にはNHKの大河ドラマ「風林火山」の背景画に使用されている「不動滝」があり、以前には「南総里見八犬伝」の撮影地にも使われたことがあります。

その不動滝までは、駐車場から約200<sup>㍎</sup>の歩道が整備されており、一歩足を踏み入れると一瞬にしてこれまでの景観と雰囲気を一変させ、入

林者にほどよい緊張感と心地よさを与えるなど、リフレッシユの場としても「レク森機能」の発揮に一役かっています。

また、管内全域が近隣屈指のタケノコ(根曲り竹)の産地として知られており、シーズンには県内外から多くの人々が訪れ、山を賑わせます。しかしながら、毎年のように行方不明者を出していることも事実であり、地元関係者らの頭を悩ませています。

このような場合には、地元森林官として捜索のための現地指導等への参加要請もあることから、シーズン中は気が気ではありません。今年も3組の行方不明者を出し捜査が行われましたが、幸いにも全員無事に生還しています。

このように、観光客をはじめ、多くの方々と接する機会が多い当森林事務所ですが、管轄面積は4,247<sup>㍎</sup>で、その60<sup>㍎</sup>が磐梯朝日国立公園



不動滝へ向かう遊歩道入り口



猪苗代森林事務所との合同事務所

に指定され、また、管内のほぼ全域が「緑の回廊」とされたところであり、更に同じくほぼ全域が保安林に指定される予定となっています。

これらを踏まえると、今後、これまで以上に「公益的機能重視」への取組が求められるとともに法令遵守についても同様であり、森林官として森林整備や管理業務等の処理には、各案件ごとに適切な初動処理及び外部対応等が重要と考えています。

外部からは、まだまだ昔ながらの「お山の大将」(威張った林区様)として見られる場合もありますが、今後とも開かれた国有林を念頭に、一般の方々の立場に立ったきめ細かなサービスを提供できる森林官を目標に緊張感を保ちながら励みたいと考えています。

# 私の視点

## 「山好・水好・人好」

産業医 関 元 行



白河支署 産業医

「木、人間の友、あらゆる有機的創造の象徴。」「空と地のあいだにあつてわれわれを蔽うもの。」「われわれの目の前にある恵みの衝立。」「これらは何れもル・コルビュジエが木について言及していることば。  
父の代から白河営林署（現福島森林管理署白河支署）の産業医を拝命しています。

森林浴によって体内のNK細胞が活性化され、その効果は一週間持続するというものでした。森林に息づくありとあらゆる植物が放出しているフィトンチッド。とりわけポリフェノールの効果は周知の通りです。子供のあふれる現代社会。子供

私の代になってから28年です。広大な種苗場がなくなったり、働く人の数も年々減ってはいるものの、この間ずっと同じ部署で仕事を続けられている職員も10名近くいて、もう殆ど友達、兄弟という感があるほどになっています。  
そんなことも手伝って、山での仕事に精をだされている皆さんの健康に、いくらかでも力になればという思いがひとしおです。  
以前、林野庁と日本医科大学衛生学教室の研究によって、森林浴は、現代人にとっては切っても切れないストレスに対して好結果をもたらす、という報告をしています。  
森林浴によって体内のNK細胞が活性化され、その効果は一週間持続するというものでした。森林に息づくありとあらゆる植物が放出しているフィトンチッド。とりわけポリフェノールの効果は周知の通りです。

私たちは外に出て遊ぶことよりゲームに熱中します。

ゲームによって活発化するのは、後頭部の視覚や聴覚に関する部位であり、心、人らしきに関わる前頭前野の血流は増加しないことが観察されています。

「ゲームは脳を溶かす」という警句があるほどです。あのビル・ゲーツでさえも、自分の子供には30分以上はゲームをさせないと明言しています。

体を動かすということは、動かしただ脳を使うことになるのに、ゲーム脳をつくることに専らになっている様子がうかがえます。

山林に這入って行き、自然に触れ、体を動かすことによって、心の回復が得られるのではないかと考えてまいります。



枥こぶ空インク壺



葛金輪寺茶器

近くの山へ遊びに行った折に拾った素材、枥の根瘤、葛などを使ったインク壺や茶器を友達に作ってもらいました。

これらに囲まれ、手にすると何故か「ほつ」とします。

野外でバーベキューをするのに、はるか彼方のマングローブから作られた木炭が店頭にならぶ昨今。子供のころ毎日の様に行つて遊んだ里山は今ももう荒れ放題。

人の生活をとりかこむ緑が、どれほど懸けがえのないものか。天と地との境に形づくられるスカイライン。その山容も、美味しい水も、緑を守る人の手になるものだということを痛感します。

「山好・水好・人好」は、中国のパンダ生息地に残る言葉でした。

# 国有林野

## 管理審議会を開催

第21回関東森林管理局国有林野管理審議会（淵上勇次郎会長）が、7月26日、局大会議室で開催され8件の土地売却いし案について審議が行われました。いずれも「議案書の方針のとおり処理することが至当である」との答申が出されました。

諮問議案は次のとおり。

- 〔第1号議案〕福島県福島市土船字新林国有林の附属地（苗畑跡地）Ⅱ福島森林管理署水保苗畑敷）約24万2,000平方メートルを売却うもの
- 〔第2号議案〕新潟県上越市本城町2-15の敷地（上越森林管理署庁舎敷）約1,270平方メートルを上越市に公園用地として売却うもの



挨拶をする淵上会長

- 〔第3号議案〕茨城県笠間市平町北山国有林2522た林小班外の森林約5万8,000平方メートルを笠間市に市道用地として売却うもの
- 〔第4号議案〕東京都八王子市廿里町35-1の敷地（旧高尾森林センター敷



国有林野管理審議会

- 及び高尾森林事務所敷）約1,000平方メートルを売却うもの
- 〔第5号議案〕神奈川県相模原市津久井町根小屋370-1外の森林約46万7,900平方メートルを神奈川県に津

久井湖城山公園用地として売却うもの

- 〔第6号議案〕神奈川県足柄上郡松田町松田庶子字中里498-1外の敷地（世附・丹沢森林事務所敷）約1,200平方メートルを松田町に駐車場用地として随意契約で売却うもの
- 〔第7号議案〕静岡県伊豆市湯ヶ島久保田151-1の敷地（旧伊豆森林管理署庁舎及び公務員宿舍敷）約4,500平方メートルを売却うもの

- 〔第8号議案〕東京都世田谷区弦巻1丁目32-1の敷地（弦巻公務員宿舍敷）1,819平方メートルを売却うもの（国有林野管理課）

## 一枚の写真



### 林業機械（ハーベスタ）による被害木処理

富士山周辺の国有林に750畝もの被害をもたらした平成8年9月の台風17号から今年で11年が経つ。現在でこそ被害木は処理され当時の面影はないが、被害発生直後はヒノキ等の木々が、まるで稲穂が風に倒されたのと同じような状況で倒され、信じがたい光景であった。被害は富士山の南斜面に集中し、特に、富士山スカイライン沿いに残されていた高齢級の林

分がことごとく被害にあった。これは、風に揉まれることもなく一瞬にして倒されたことで、材としての価値に問題がなかったことから、虫害が予想される梅雨入り前までに生産販売することが命題とされた。そこで活躍したのが、写真にあるハーベスタである。その年は、職員による生産事業の最後の年に当たっており、被害木処理という思わぬ形で職員によるハーベスタの使用

となった。当時ではまだ珍しいハーベスタの性能はもちろん、わずかな運転習熟期間のみで被害木処理を行うこととなった生産班の腕前は予想以上に素晴らしく、膨大な被害木の処理に大いに貢献した。国有林野事業において、職員自らハーベスタを使い生産事業を実行したのは、これが初めてのことであったかと思う。

（静岡署 広報連絡官 谷山博則）

発行所 関東森林管理局  
編集 総務課

TEL(027) 2110-11158  
FAX(027) 2110-11159

